

番号	タイトル	種類 上映時間	内容
P-1	The Day of Five Billion	カラー 70分	1987年7月、50億人目の赤ちゃんが世界で誕生。これを祝して「世界で一番大きなお誕生日パーティ」に歌手スティービー・ワンダー、ピーター・ガブリエル等が出演。各国の首脳インタビューをまじえた音楽ビデオ。(国連 1987年)
P-2	No Room to Move	カラー 15分	今、世界の人口は開発途上国から先進国へ、小さな村から大きな都市へ職を探しに、またより良いサービスと生活を求めて大幅に移動している。近年世界人口は毎年3%増え続け、特にラテン・アメリカ(2.1%)、アジア(2.9%)など、開発途上国の人口増加は30年前に比べると、ほぼ2倍近くになっている。アフリカのマリとメキシコを例にとりながら人口増加の実態と人口移動を世界地図で説明する。(UNFPA 1994年)
P-3	Discussion and Decision : Preparing for the Int'l Conference on Population and Development 1994	カラー 16分45秒	1994年9月5日からエジプトで開催される「国際人口開発会議」(ICPD=カイロ会議)を前に5つの地域(アジア太平洋、アフリカ、ヨーロッパと北アメリカ、アラブ、ラテンアメリカとカリブ海)で準備会議が開催された。カイロ会議のテーマは人口と女性、持続可能な開発、環境保護等。世界の総人口は今世紀末には76億人に達するだろうと言われている。それぞれの国や地域が抱える問題や政策などにつき、人口の専門家やNGOの代表者に「国際人口開発会議」に期待することをインタビュー形式で紹介する。(UNFPA 1994年)
P-4	Cairo 1994 : Putting People First	カラー 18分	現在、世界の人口は57億人。増え続ける人口と持続可能な開発をテーマに1994年9月エジプトのカイロで「国際人口開発会議」(ICPD)が開催される。100ヶ国以上の国から政府関係者やNGOの代表者が集まり、女性と教育、妊娠と中絶、今回のキーワードである「性と生殖に関する権利と健康」(リプロダクティブ・ライツヘルス)について討議される予定である。バングラデシュ、ケニア、ガーナ、アメリカ、オランダの人口専門家が自国や地域の抱える問題や人口事情を説明する。(UNFPA 1994年)
P-5	UNFPA at 25 : Making a Difference	カラー 16分	1969年のブカレスト人口会議、1974年のメキシコ会議に続く今回のカイロ会議は20年ぶりの開催である。国連人口基金は当初、その活動の大半を発展途上国における家族計画をテーマにしていた。爆発的に増え続ける人口は、今世紀末には軽く見積もって76億人に達すると言われている。家族計画サービスを普及させ、女性に子供を生むかどうか、いつ産むかなどの選択権を与えること、女性に対する教育の普及をはかることを基本にこの25年間のあゆみと今回の会議の要点を、ナフィス・サディック国連人口基金事務局長が説明する。(UNFPA 1994年)
P-6	UNFPA : PSA	カラー 3分	国連人口基金(UNFPA)が制作した広報用ビデオ。それぞれ30秒ずつの4部構成になっている。1)ゆりかご、2)チョコレート、3)ソノグラム(胎児の映像)、4)UNFPAの活動紹介(UNFPA 1995年)
P-7	Voice from Cairo : The International Conference on Population and Development	カラー 25分	国際人口開発会議(ICPD)は1994年9月カイロで開催され、180か国以上の国々から11,000名余が出席した。増加の一途をたどる人口とそれが環境と開発に及ぼす問題を提起し、その行動計画は今後開催が予定されている「第4回世界女性会議」にも影響する重要な会議である。リプロダクティブ・ヘルスケアはこの会議で生まれた言葉である。このビデオは会議の様子と出席した国家元首、首脳ならびに関係機関の代表たちの演説等を収録している。(UNFPA 1995年)

番号	タイトル	種類 上映時間	内容
P-8	We Are the United Nations Population Fund	カラー 14分	世界に8か所の技術協力地域事務所を持つ国連人口基金 (UNFPA) は創設25周年を迎えた。今や人口と開発問題に関する国際機関としてNGOの協力を得て150か国に援助の手をさしのべている。この25年間、UNFPAは幼児死亡率、妊産婦死亡率を低下させ、避妊具の使用を積極的に奨励し、女性と子どもをエイズや妊娠中絶から守ってきた。1994年9月、UNFPAは国際人口開発会議 (カイロ) を主催し、女子への教育こそが人口の抑制につながると指摘、リプロダクティブ・ヘルスケアなる言葉が生まれた。サディック事務局長のインタビューをまじえて UNFPAの活動を紹介する。(UNFPA 1995年)
P-9	UNFPA Towards the 21st Century	カラー 15分	(UNFPA 1997年)
P-10	Population: The UNFPA Experience	カラー 20分	(UNFPA)
P-11	UNFPA Little by Little	カラー 25分	(UNFPA 1995年)